

- 伊江村堆肥センターは、島内の畜産農家から出される牛ふんを活用し、特殊肥料「伊江島1号」を製造。これにより島内の循環型農業を促進。

## ■ 国内資源の種類 ■ 肥料の種類・肥料名称

- ・牛ふん
- ・バガス（さとうきびの搾りかす）

- ・種類：特殊肥料
- ・肥料名：伊江島1号



## ■ 取組の経緯・内容・成果（見込み）

### 取組の経緯

- ・沖縄県伊江村は、島内の畜産農家から出る牛ふんを島内で耕種農家等が利用し農地等へ還元する循環型農業を促進し、また、地下ダムの農業用水の水質保全を図るため、平成25年度に伊江村堆肥センターを整備。

### 取組の内容

- ・伊江村堆肥センターは、島内90戸の畜産農家から牛ふんを買入れ、特殊肥料「伊江島1号」を製造・販売。販売先のニーズに合わせて、バラまたは袋での配達や、散布まで対応している。
- ・肥料価格高騰の影響で耕種農家の堆肥の需要が高まり、堆肥の在庫が不足したため、令和4年度に自走式攪拌機を導入し、強制発酵による堆肥の製造期間の短縮を図り、需要期に堆肥を供給できる体制を整備した。

### 成果（見込み）

- ・島内で堆肥の製造・農地への還元が行われ、循環型農業が実現された。
- ・需要期の在庫の確保により堆肥利用量が増加した。  
(利用実績令和2年度1,565 t ⇒ 令和4年度2,477 t)
- ・堆肥利用等により島内の各種作物の単収が増加した。  
(さとうきび単収：平成25年度 4.9t/10a ⇒ 令和4年度 8.1t/10a)

## ■ 作物

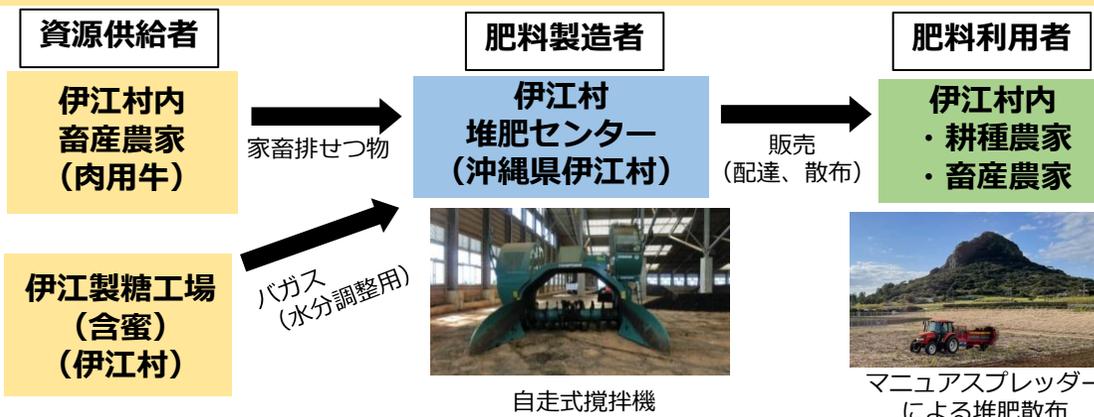
- ・島らつきょう
- ・さとうきび
- ・花卉
- ・とうがん
- ・葉たばこ
- ・草地 等

## ■ 主成分の含有量（%）、特徴等

N	P	K	C/N比
1.34	1.97	2.38	10

- ・基肥と土壤改良資材として利用

## ■ 主たる取組主体と肥料利用までの流れ



## ■ 今後の課題・取組

### 【課題】

- ・堆肥利用農家戸数、散布面積の増加
- ・ペレット化に係る技術的・コスト的な課題の対応
- ・堆肥製造期間の更なる短縮化

### 【取組】

- ・島内農家にチラシや広報誌で情報提供
- ・県内外で牛ふん堆肥のペレット化を行っている製造事業者の情報収集
- ・堆肥散布作業の効率化の検討
- ・更なる堆肥製造の省力化に向けた実証